

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立蒲刈中学校
(蒲刈中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	+2.2	-7.0	-8.6
令和4年度	+4.0	-2.4	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 72 % 全国 69.8 % 県 70 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎ 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することについて課題がある。(設問1三)【話すこと・聞くこと】 (正答率 66.7%) (全国平均との差-15.8ポイント)</p> <p>◇ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることについて課題がある。(設問3一)【書くこと】 (正答率 33.3%) (全国平均との差-21ポイント)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎ 目的に応じて集めた情報を基に知りたいことを整理し、相手の話を捉えて効果的に質問したり、聞き取ったことを基に自分の考えをまとめたりする学習活動を多く設定する。</p> <p>◇ 事実やそれを基に考えたことをレポートなどにまとめて書く際には、目的や意図に応じて集めた材料を整理し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する学習活動を多く設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎ 目的に応じて集めた情報を整理する、学年末試験の類似問題。 (第3学年1月, 第1・2学年2月) 目標 80%→68.7%</p> <p>◇ 文章校正の意図に関する学年末試験における類似問題。 (第3学年1月, 第1・2学年2月) 目標 50%→43.3%</p>
<p>数学</p> <p>本校 44 % 全国 51.0 % 県 49 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎ 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。【数と式】 (「数と式」の領域別平均正答率 48.9%) (全国平均との差-14.1ポイント) (設問6(2)の正答率 33.3%) (全国平均との差-25.5ポイント)</p> <p>◇ ある事柄が成り立つことを証明することに課題がある。【図形】 (「図形」の領域別平均正答率 29.6%) (全国平均との差-3.6ポイント) (設問9(1)の正答率 22.2%) (全国平均との差-9.9ポイント)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎ 計算や括弧で括り、3の倍数であると説明するところなど、生徒がどの段階で間違えたかを分析し、ドリルソフト Qubena 等を活用して、「数と式」領域の復習を行う。入試の過去問など、長めの対話形式の問題から情報を整理する活動も取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <p>◇ 「図形」領域の指導の中で、穴埋め→並び替え→全文記述と、段階的に合同や相似の証明の活動を取り入れ、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて説明する場を多く設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇ 標準学力調査における類似問題(第1・2学年:1月) 目標 60%→結果 54.2% 学年末試験における類似問題(第3学年:1月) 目標 60%→結果 56.1%</p>
<p>英語</p> <p>本校 37 % 全国 45.6 % 県 43 %</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇ 日常的な話題や社会的な話題について書かれた英文を読み、文と文との関係を正確に読み取ったり、要点を捉えたりすることに課題がある。 【読むこと】 (平均正答率 44.4%) (全国平均との差-6.8ポイント) 設問7(1) (正答率: 本校 33.3%) (全国平均との差-26.5ポイント) (2) (正答率: 本校 22.2%) (全国平均との差-12.5ポイント) 設問8(1) (正答率: 本校 22.2%) (全国平均との差-33.9ポイント)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇ 事実や考えが書かれた英文を読んで、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解させ、事実と考えを区別して読んだり、日常的话题について書かれた英文を読んで必要な情報を読み取ったり、文と文との関係を正確に読み取ったりする学習活動を学習的に設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇ 2学期期末試験における全国学力〔設問7(1)(2), 設問8(1)〕の類似問題 (第3学年:11月, 第2学年:12月) 目標 50%→結果 48.2% 英文の読み取りに関する学年末試験の問題 (第3学年:1月, 第2学年:2月) 目標 55%→結果 56.6%</p>

【来年度に向けて】

各教科に共通した課題は、「文章の内容を正確に読み取ること」である。語彙力を鍛えて自分の言葉で内容をまとめ、筋道を立てて内容を説明できるような場を多く設定するとともに、全教職員が課題を意識し、学校の教育活動全体を通じて課題の克服を図っていく。